

令和6年度 スプリングセミナーあいさつ（2024年4月12日）

○皆さんおはようございます。

1年生の皆さん、ムサキタでの学校生活の4日目ですね。

一日一日、長く感じていますか、あっという間と感じていますか。いかがですか。

今この場所にいる皆さんは、素晴らしい資質・能力をもつ、かけがえのない人だと思っています。

中学校では「できてすごいね」と称賛されることが多かったのではないのでしょうか。

高校での「できてあたりまえ」の日々が始まります。

本日はスプリングセミナーです。

中学校生活から高校生活へ「気持ちと生活の切り替え」をすることの大切さに気付いてくればよいなという願いを込めて、

①できる限りの努力をすること、②日々自分の生活を振り返ろう、という話をします。

○できる限りの努力

努力はきっと報われます。すぐに結果は出なくても力は必ず蓄えられているものです。将棋棋士の羽生善治（はぶ よしはる）氏のことばを紹介します。

「才能とは、努力を継続できる力」もう一度言います。「才能とは、努力を継続できる力」

「自分に才能がないと不安になる」よりも「自分ならできる」と自分を信じることです。

結果を出そうと焦ることはありません。地道に一步一步確実に進むことが大切です。

困難なところに、身を置き続けること。

困難だけど毎日こつこつ継続していくこと。

少しでも壁にぶち当たったら、早期に、先生にアドバイスを求めたり、生徒同士で助けあったりすること。チームムサキタ。一生付き合える素晴らしい仲間がきっとできます。

○日々の振り返り：リフレクション

今日できなかったことは何か

今日できなかったことを明日はやり遂げよう の繰り返しだと思います。

自分で自分をより良い方向に修正していくこと

人の話に耳を傾けること

柔軟に修正していくこと

人と比較して自分を測らないこと。自分らしさを大切にすること

振り返る中で、自分が考えた判断と決断は、一歩前に進む原動力となるはずです。

日記などで自分で考えたこと、感じたことを記録することも、振り返りに有効です。

皆さんには、日々のリフレクションにより「考えたことは、考えたように実行しないと、考えた意味がない」との思いで、実行力のある人になってほしいと思っています。

本日は学年の先生、5教科の先生、進路指導部の先生、養護の先生からお話をさせていただきます。皆さんのムサキタライフに役立ててください。

まだ始まったばかりですが、3年後、1年生全員が本校での学びと経験を修め、胸を張って卒業してほしいと、切に願っています。

私の話はこれで終わります。